様式２

番号 ＼ 観点	発行者の番号・略称	使用学年	教科書の記号・番号	教科書名
	227・育鵬社	第３学年 公民的分野	公民・934	中学社会　新しいみんなの公民
取扱内容 （学習指導要領の総則及び各教科、各学年の目標、内容等）	○　私たちと現代社会に関する内容 少子高齢社会の課題と対応や文化の継承と創造を通して、地理的分野及び歴史的分野との関連を図りながら写真を比較したり、クラスでの文化祭の事例を通して、問題を追究し説明したりする活動を取り上げ、目標が達成できるようになっている。 ○　私たちと経済に関する内容 事業に対する銀行の融資に関する事例を通して、判断した過程や結果をまとめたり、消費者の権利と保護、環境の保全を通して、消費生活を営む上での責任を自分の生活と関わらせて考え説明したりする活動を取り上げ、目標が達成できるようになっている。 ○　私たちと政治に関する内容 男女の平等と家族の価値や国際社会における人権を通して、基本的人権の意味を考察したり、地域おこしの例や観光資源、裁判員になって判決を考える事例を通して、地方自治の基本的な考え方や法に基づく公正な裁判の保障について、調査したりする活動を取り上げ、目標が達成できるようになっている。 ○　私たちと国際社会の諸課題に関する内容 国際連合や第二次世界大戦後の主な地域紛争を通して、国家間の相互の主権の尊重と協力、国際機構の役割について考察したり、持続可能な社会をテーマとして、視点を明確にして考察しレポートを作成したりする活動を取り上げ、目標が達成できるようになっている。 ○　知識・技能の習得、活用、探究への対応 巻末の「テーマを決めてレポートを作成しよう」において、学習内容を言語活動を通して表現するなど、知識・技能を活用する学習活動が取り上げられている。			
内容の構成・排列、分量等	○　内容の構成・排列 「現代社会の文化と私たちの生活」において、現代社会をとらえる見方や考え方の基礎を学習した後に、政治、経済を排列し、最後の章では、社会科のまとめとして、持続可能な社会の形成についての課題学習を設定するなど、系統的・発展的に学習できるような工夫がなされている。 ○　内容の分量 「私たちと現代社会」は34ページ、「私たちと経済」は50ページ、「私たちと政治」は78ページ、「私たちと国際社会の諸課題」は45ページであり、総ページ数は248ページで、前回より8%増となっている。			
使用上の配慮等	○　各章の導入に、学習の見通しをもたせる「入り口」を設けたり、根室での「サンマの水揚げ」を掲載し、北海道の事例から産業構造を考察したりするなど、生徒の学習意欲を高める工夫がなされている。 ○　学習を深めることができるよう「理解を深めよう」や「考えよう」を設けたり、よりよい社会の形成に参画する意欲や態度が高まるよう自分の人生と学習内容との関わりについて知る「人生のモノサシ」を掲載したりするなど、生徒が主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。 ○　家庭での自学自習に配慮し、巻末に学習に役立つウェブサイトの一覧を設けるとともに、巻頭に「戦後の日本と世界の主なできごと」を掲載し、分野間の学習の関連を図ったり、全ての生徒が学習しやすいよう、振り仮名をゴシック体にしたりするなど、使用上の便宜が図られている。			
その他	○　北海道と関連のある教材は、アイヌの人たちの歴史・文化等について５箇所、北方領土について４ページが取り上げられている。 ○　「男女の平等と家族の価値」において、最も身近な社会集団である家族の価値と役割についての単元を設けるなど配慮されている。 ○　「里地里山を守る」では、地域の学生による里地里山の保全活動を紹介するなど、学校内外における自然体験活動により、生命及び自然を尊重する精神を養うことができるよう配慮されている。			